

「日本頭痛学会誌」投稿規定

2023年4月7日改訂

1. 投稿規定

- (1) 投稿論文の筆頭著者は日本頭痛学会員に限られるものとし、論文の内容は頭痛に関連するものを広く採用する。
- (2) 投稿論文（原著、症例報告）は、国内外の他雑誌に掲載されていないもの、あるいは投稿中でない論文に限る。なお、英文の原稿も受け付ける。
- (3) 投稿論文の採否は編集委員会の審査により決定する。
- (4) 論文審査料および掲載料は無料とする。
- (5) 別冊は有料とし、実費を徴収する。
- (6) すべての論文の著作権は日本頭痛学会に帰属する。

2. 論文の構成

論文区分（原著、症例報告、その他、Letters to the editor）：

- (1) 原著は、要旨 300 字以内、本文 20 枚（8,000 字）以内、文献 30 以内、図表 8 個以内、英文抄録 500 語以内とする。
- (2) 症例報告は、要旨 300 字以内、本文 15 枚（6,000 字）以内、文献 20 以内、図表 6 個以内、英文抄録 500 語以内とする。
- (3) その他として新ジャンルを設ける。総説、仮説、資料の中から著者が内容に合った項目名を選択する。要旨 300 字以内、本文 20 枚（8,000 字）以内、文献 30 以内、図表 8 個以内（1 個につき 400 字とする）、英文抄録 500 語以内とする。

(4) Letter to the editorへの投稿

本誌に最近掲載された論文に対するLetters to the editorを受け付ける。反論あるいは賛成の意見などを手紙の形式で1,000 字以内（図表無し）にまとめる目的で設置された。採否は編集委員会の議を経て決定する。なお、投稿者の主旨を曲げることなく文章を変更する場合がある。また、レターに対しては必要に応じ、元論文の著者に回答、コメントを求めることがある。

	要約	本文	文献	図表	英文抄録
原著	300 字	8,000 字以内	30 件以内	8 点以内	500 語
症例報告	300 字	6,000 字以内	20 件以内	6 点以内	500 語
総説・仮説・資料	300 字	8,000 字以内 図・表含む	30 件以内	8 点以内	500 語
Letter to the editor	なし	1,000字以内 タイトル含む	3 件以内	なし	なし

- (5) 特集論文・招待論文については、本文字数、文献件数、図・表の点数とも、この限りでない。また、要約、英文抄録は不要とする。
- (6) 著者校正は原則として 1 回限りとし、返送期日は厳守する。

3. 臨床研究倫理・個人情報保護

(1) 臨床研究においては、厚生労働省“人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針”を遵守し、課題によっては各施設で研究倫理審査を受けて当該施設の審査委員会で承認済みであることを論文に記載する。自施設に審査委員会が設置されていない場合は設置されている他施設に研究倫理審査を依頼して承認を得る。日本頭痛学会誌に投稿する場合に限り、適切な倫理審査の機関が見つからない場合は、本学会が委託する東海大学医学部臨床研究審査委員会に審査を依頼することができる。

指針は以下を参照すること。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>

(2) 外科関連学会協議会による「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を参照すること。個人情報保護に関する問題は著者が責任を負うものとする。

https://jp.jssoc.or.jp/modules/aboutus/index.php?content_id=44

4. COI 状態の自己申告

(1) 投稿する著者全員は、会員、非会員を問わず論文内容に関係する企業・組織や団体との投稿時から遡って 1 年間の COI 状態を「自己申告による COI 報告書」に記載して提出する。

(2) 採択となった論文の本文末尾に、自己申告した COI 状態を掲載する。

(3) 重大な COI 状態にあると疑義が想定される自己申告については、編集委員会で検討し、必要に応じて理事会に諮る。

5. 執筆要綱

(1) 論文原稿：原稿はワープロを使用して、1 ページ 1,200 字詰（40 字×30 行）、横書きとし、投稿形式を明記する。なお、行間に余裕を持たせ、文字は 12 ポイント程度とする。表紙を 1 ページとして、通しページとする。標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシックなど）を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する。

(2) 本文 1 ページ目には、投稿区分、論文題名、著者名、Keywords（5 つまで）、所属施設名、連絡先を記入し、2 ページ目に日本語要約を記入する。本文、文献、英文抄録、図説は、1 つのファイルとして作成し、図表はそれぞれ別ファイルで作成する。

(3) 本文は、「はじめに」「目的」「対象・方法」「結果」「考察」「結論または結語」などの項目を掲げる。また、症例報告の場合、「症例」という項目を掲げてよい。専門用語以外は当用漢字、現代仮名遣いを用い、句読点を正確に書く。外国語の固有名詞（人名、地名）は原語のまま用いる。すでに、日本語化して久しいものはなるべくカタカナとする。商標薬品名 R、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語（病名、その他）の頭文字は、ドイツ語名詞及び文頭の場合を除きすべて小文字とする。

- (4) 数字・単位：算用数字を用いる。度量衡単位は CGS 単位で、m, cm, mm, cm², dl, ml, kg, g, mg などとする。
- (5) 図・写真：JPG, GIF, EPS, TIFF, AI および PSD フォーマットを推奨する。組織標本には染色法と倍率を付ける。DOC (X), XLS (X), PPT (X) 等、複数ページにまたがるファイルの場合、それぞれの図・写真の中に番号を記入する。なお解像度は 300dpi 以上とし、そのまま印刷可能な明瞭なものとする。また、希望サイズがあれば明記する。図の説明は別紙に記入する。
- (6) 表については標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する。表には番号, タイトル, 脚注を含める。
- (7) 英文抄録は 500 語以内とする。表題, 著者名, Keywords (5 つまで), 所属施設名, 連絡先も英文で記載する。
- (8) 文献：本文に用いられたものを引用順に挙げ、引用番号は、本文の引用順とし、引用番号は、本文中の引用箇所に肩番号で記す。また、文献は下記のように記載し、欧文雑誌の略名は最近の Index Medicus に従う。
- 1) 雑誌の場合、著者氏名：題名, 誌名, 巻数：起始頁-最終頁, 西暦発行年。
 - 2) 書籍の場合、著者氏名：書名, 版数, 発行所名, 発行地, 西暦発行年, 巻数, 引用頁。執筆者名：論文名, 書籍名, 編集者名, 章 (または巻), 発行所名, 発行地西暦発行年, 引用頁 (起始頁-最終頁)。
 - 3) 学会発表の抄録を引用するときは表題の最後に (会), 欧文発表の場合は (abstr) とする。
 - 4) 引用文献の著者氏名は、3 名以内の場合は全員を書き、4 名以上の場合は 3 名連記の上、ほか」あるいは「et al」とする。
 - 5) Web サイトの場合、
サイト名 [Internet] . 発表機関所在地：機関名；発表年月日 [cited アクセス年月日] . Available from：サイトURL. (発表年月日は分かる範囲でよい)
- (9) 引用文献例
- 1) Fukuda M, Suzuki N, Maruyama S, et al: Effects of sumatriptan on cerebral blood flow under normo- and hypercapnia in rats. Cephalalgia 22 : 468-473, 2002.
 - 2) 根来 清, 森松光紀：疫学からみた頭痛の社会的意義. Brain Medical 12 : 11-19, 2000.
 - 3) 荒木治子, 竹島多賀夫, 井尻珠美, ほか：頭痛治療の EBM：抗てんかん薬. 日本頭痛学会誌 30 : 50-52, 2003.
 - 4) Giammarco R, Edmeads J, Dodick D : Critical Decisions in Headache Management. B. C. Decker Inc, Hamilton-London, 1998 p1-10.
 - 5) 西村周三：医療経済学から見た片頭痛 (坂井文彦・編). 片頭痛へのアプローチよりよい日常生活を配慮した診療を目指して一, 先端医学社, 東京, 2004 p56-66.
 - 6) 難病情報センター. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 [Internet] . 東京：厚生労働省；2022 Mar 1. [cited 2023 Jan 11] . Available from: <http://www.nanbyou.or.jp/entry/3878>

6. 投稿要項

- (1) 論文の投稿は、電子投稿システム「ScholarOne ManuscriptsTM」で行う。投稿ウェブサイト：<https://mc.manuscriptcentral.com/jjh>
※日本頭痛学会ホームページ、学会誌サイト内リンクよりアクセス可。
- (2) 本文表紙には投稿区分、論文題名、著者名、Keywords（5 つまで）、所属施設名、連絡先を記入し、2 ページ目に日本語要約を記入する。本文、文献、英文抄録、図説は、1 つのファイルとして作成し、図表はそれぞれ別ファイルとして作成のうえ、投稿ウェブサイトからアップロードする。
- (3) 必ず投稿前に全文 PDF を開き、ファイル内の文字化け、画像の鮮明度、図や表の番号や説明などを確認する。
- (4) ファイル名：アップロードファイルは、次のように半角英数字を用いて名前を付ける（拡張子は例示）。
論文原稿：MainText.docx
図：Fig1.jpg Fig2.jpg Fig3.jpg
表：Table1.xlsx Table2.xlsx Table3.xlsx
- (5) 投稿承諾書と COI 報告書：投稿承諾書と全著者の COI 報告書に必要事項を記載のうえ押印し、スキャンデータ（PDF ファイル）を、次のように半角英数字を用いて名前を付け（拡張子は例示）、アップロードする。
投稿承諾書：shodaku.pdf
COI 報告書：coi.pdf
- (6) ファイルサイズ：アップロードするファイルサイズは、すべてのファイルの合計で 20MB までとする。

7. 問合せ先

編集に関する問い合わせ先：

「日本頭痛学会編集事務局」

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9階

TEL：03-5291-8202 FAX：03-5291-2177

E-mail：jhs-edit@shunkosha.com

オンライン投稿・査読システムの操作についての問い合わせ：

ScholarOne サポートセンター

株式会社杏林舎内

TEL 03-3910-4517

電話受付時間：平日 9 時～12 時、13 時～17 時まで

E-mail：s1-support@kyorin.co.jp

(2023 年 4 月 7 日)